

一般社団法人電動車両用電力供給システム協議会(EVPOSSA)

平成27年度事業計画書

平成27年4月1日～平成28年3月31日

1. まえがき

次世代自動車の普及について、2014年11月に発表された「自動車産業戦略2014」では2030年までに次世代自動車の新車販売に占める割合を5割から7割、電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車の割合を2割から3割とすることを目指すことが盛り込まれている。

EVPOSSAに関連する「充電インフラ」に関しては、平成24年度補正予算<次世代自動車充電インフラ整備促進事業(予算1005億円)>の補助事業が実施されてきたが、平成27年2月27日に予定通り終了し、これに変わる充電インフラ整備促進事業として、平成26年度補正予算<次世代自動車充電インフラ整備促進事業(予算300億円)>(以下「補助事業」という)が決定され3月より執行されている。今回の補助事業の特徴として、EVPOSSAの設立の目的とも合致した「安全、安心な普通充電器」の普及促進のため、第三者認証機関による認証が必要となった。

また、充電インフラの更なる設置促進のために工事費の定額補助化等がなされている。これにより、今まで以上に「安全、安心」な充電インフラが整備されていくことが期待されている。

EVPOSSAの昨年までの活動(V2Hガイドライン発行、互換性体験会結果の充電器認証制度へのフィードバックなど)により、普通充電器に係わる標準化も進んでおり、今後の充電器の普及促進のための土台が出来上がり始めている。

また、昨年末に燃料電池自動車(FCEV)が市販化され、次世代自動車への関心がますます高まっている状況となっている。

このような状況下において、EVPOSSAとしては普通充電器の普及促進活動と電動車両用電力供給システムにかかわる協議を進め、関係省庁及び関係団体のご指導とご支援を頂き、会員の皆様とともに安全・安心な普通充電器の普及促進とあわせて電動車両用電力供給システムにかかる新しい技術課題へも積極的にとりこんでいく。

2. EVPOSSAの活動

2.1 EVPOSSAビジョン

EVPOSSA活動の更なる充実に向けて、電動車両用電力供給システムにかかる視点から下記に掲げるビジョンを基本方針として具体的成果の得られる活動を行う。

- (1) 移動したくなる社会づくり
- (2) コミュニケーションの活性化
- (3) 人にやさしい充電インフラの提供
- (4) 自然・災害に強い仕組みづくり

2.2 委員会・部会の活動計画

2.2.1 企画運営委員会

活動内容

- (1) 中長期の活動計画の策定
- (2) ICT との連携による充電器の新たな価値創出
- (3) 充電器の設置事業者への利益・メリット創出
- (4) 充電器の利用状況を“見える化”する仕組みづくり
- (5) 環境へさらに低負荷な、FCV(燃料電池車)への対応の検討
- (6) EVPOSSAの新たな枠組み拡大の検討

2.2.2 技術課題検討部会

活動内容

- (1) 充電器互換性確保の取り組みを継続
- (2) 利便性や汎用性の高い充電器の検討
- (3) 充電器における通信規格の統一の検討
- (4) 充電インフラの基盤である電気設備技術等の標準化への貢献

2.2.3 普及促進部会

活動内容

- (1) 第三者認証(JARI認証)制度の普及・啓発
- (2) 会員企業の第三者認証(JARI 認証)取得推進
- (3) ホームページやセミナー、展示会等を通じた広報活動
- (4) 国や自治体による検討会での提言活動
- (5) 国や自治体への政策提案、法制度改正等の提案
- (6) 国の政策に対応した情報の整備と発信
- (7) 外部関連団体・企業等との情報共有・連携
- (8) トラブル情報の収集・共有・発信
- (9) 充電器位置情報の収集・共有・発信
- (10) 充電器における通信規格の統一の検討